

安全工学シンポジウム2018

安全をめぐる知識・知恵の継承

今年で第48回となる安全工学シンポジウムは、安全工学の発展と関連分野の交流を目的とし、特別講演、パネルディスカッション、オーガナイズドセッション（19セッション、計92題）、一般講演（12セッション、計64題）を予定しています。

- ◆ **日時**：7月4日（水）10:00～15:40、5日（木）10:00～15:40
6日（金）10:00～15:40
- ◆ **会場**：日本学術会議（東京都港区六本木7-22-34）

[交通] 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

主催：総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
共催：日本機械学会 他33学協会

特別講演 7月5日（木）

12:30～13:30

「活かし」そして「つなぐ」実践的安全活動
～機械安全の実践と人づくり～

古澤 登 氏（安全と人づくりサポート 代表）

パネルディスカッション・オーガナイズドセッション

PD-1 リスクベース工学の最前線
PD-2 産官学の機械安全の取り組みと役割
PD-3 安全教育と人材育成について（連携PD）
PD-4 自動車の自動運転の研究開発の現状と課題

OS-1 教育研究機関の環境安全教育
OS-2 組織と個人のリスクへのセンス向上手法
OS-3 宇宙輸送における次世代推進システム
OS-4 電気設備分野の安全・安心技術
OS-5 高齢社会の火災安全と避難計画 ー小規模福祉施設を中心としてー
OS-6 エアバッグ安全とリコール
OS-7 土木工事の技術的安全性確保・向上の検討
OS-8 大規模物流倉庫の火災安全

OS-9 老朽・遺棄化学兵器廃棄の安全と環境の保全に向けて
OS-10 工学システムの社会安全目標の実用化に向けて
OS-11 Safety-2: 成功事例を分析する実践的取り組み
OS-12 「災害発生時のリスクマネジメント」火災、地震、津波・・・防災と減災、避災を考える
OS-13 事故情報と安全対策～事故防止のあり方を考える
OS-14 若手技術者への安全・信頼性の伝承について
OS-15 機械安全の原点である安全確認型システムから協働システムに

問い合わせ先：安全工学シンポジウム2018 事務局

一般社団法人 日本機械学会

TEL: 03-5360-3505 FAX: 03-5360-3509

E-mail anzen2018@gakkai-web.net

プログラム等の詳細は、<http://www.anzen.org/> をご覧下さい

事前登録不要
参加費無料